

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市榴岡児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 44,087人 (前年度比 100.6%) 平成31年度 43,839人 平成29年度 37,878人 平成28年度 29,685人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 60,388千円 (51,363千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	来館者とのコミュニケーションを大切にしながら、利用しやすい雰囲気づくりに努めている。児童クラブにおいては、館外ワークショップを実施し、自然の中での体験活動を通して児童の繋がりを深める取り組みを展開している。サテライトの運営等においては、職員間で密に連絡を取り合いながら、安全に配慮した運営に努めている。また、学校や地域の諸団体との連携体制が構築されており、子育て支援の拠点として地域に根差した児童館運営に取り組んでいる。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
<p>①子どもまつりと児童館まつりは「子どもスタッフ会」が主体となった企画実行し、どちらも40名の小学生が参画し毎週土曜日に運営会議を行ってきた。残念ながら子どもまつりは新型コロナウイルス感染症拡大のため延期としたが、プロセスを丁寧に行ってきた子どもの力は確実に伸びている。②児童クラブは分室が3か所となり大規模化と分散化が続いている中、郊外ワークショップ「そあとの庭」での自然体験等を通して、子ども同士が繋がりを深め逞しく成長しており、児童と保護者から高評価を頂いた。③日々の会話や相談支援を通して児童クラブ保護者と共有度を高めることができた。保護者会主催の「大そうじ会」は感謝の気持ちで一杯。保護者同士そして職員との交流の場にもなった。④孤立しない子育て支援を進めるため「縁が輪ねっ」とを組織して6年になる。主任児童委員や町内会との連携も進み、切れ目のないインクルーシブな子育て支援を目指す基盤ができつつある。⑤子育て支援クラブ「ガーネット」の母親たちがクリスマス会やリミック等を企画実行し、子育て中ながらも生き生きと活動している。社会参画の意識が高い。⑥地域公開セミナーは榴岡小PTA・学校支援地域本部と共催で4回実施。その内2回は榴岡小の授業の一環として児童と教員が乳幼児親子を含む地域の方々と共に参加した。大人と子どもが一緒に拝聴し、意見を出し合い考える場となったことは大きい。⑦榴岡小5学年と児童館の公募により集まった児童が、地域と協働で作成した「つつじがおか防災マップ」は、より地域を知ることにつながり地域世代間交流も促進できた。⑧地域との「顔が見える関係」と榴岡小との揺るぎない協働の基に、職員一同チームとして諸事対応できた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育て家庭支援事業においては、本市外からの転入により居住する世帯が多い地域であることを踏まえ、孤立しないための子育て支援を目標に、年齢別の定例行事を実施するなど、遊びの場だけでなく、利用者同士の出会いの場を提供している。また、行事の内容には利用者の要望を反映させており、人気行事の実施回数を増やす等の事業のさらなる充実を図っている。児童クラブの登録児童数が200名を超え、専用室の確保ができない中においても、一日を通して乳幼児親子の利用者が多く、工夫を凝らした事業内容や利用しやすい環境づくりを行っている点が評価できる。</p> <p>児童健全育成事業においては、子どもたちが自らの力でやりたいことを具現化できるよう、子どもの力を信じ支えるという理念のもと、事業に取り組んでいる。特に児童館まつりと子どもまつりでは、子どもスタッフが継続して運営会議を開催し、準備段階から主体的に行事を作り上げていくことを通して、子どもたちの達成感や自己肯定感を高めることに繋がった。また、体験を通じた学びを重視しており、「そあとの庭」での自然体験や、低・中・高学年別に子どものニーズに応じた内容で実施した遠足などは、子どもたちの学びや興味を広げることに繋がっている。</p> <p>地域交流推進事業では、小学校や連合町内会、商工会議所など多くの機関と連携し、年間を通して多くの事業を展開している。「つつじがおか防災マップ」づくりの取り組みでは、地域の大人たちと交流しながら地域の歴史を学び、地域の魅力を再発見する貴重な機会となった。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課